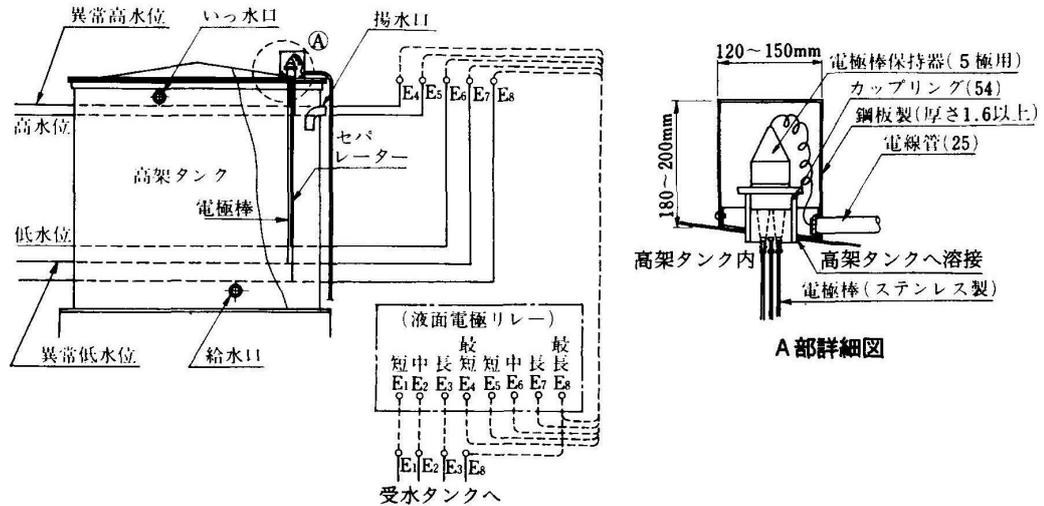


1) 高架タンクの場合



(注)

- 1 電極棒の取付け位置は点検可能なマンホールぎわとし、揚水口とできるだけ離して波の影響をさける。
- 2 電極棒のつなぎ目はばね座金を入れ、ナットで十分締めつける。
- 3 電極棒が長い場合は、接触を防ぐため電極接続部(1m)ごとにセパレーター(がいし製)を使用する。
- 4 水槽内に汚れた水が入らないように注意する。

2) 地下タンクの場合

下図は工業用水のタンクの図であり、飲料用水のタンクの場合は6面点検が可能な構造のものではない。

